

家のタイプを知って正しく換気しよう

新型コロナウイルスの影響で、家にいる時間が長くなった人は多いかもしれません。快適な暮らしのために上手な換気方法を覚えましょう。最近の家やマンションは高気密・高断熱になっているので、意識して換気しないと空気がよどみがちです。あなたの家やマンションが2003年7月以降に建てられたものなら、「24時間換気システム」があります。そうでなければ、意識して換気する必要があります。窓や扉を2つ以上開けて、風の通り道を作りましょう。

書斎・ワークスペースのアイデア



「新しい生活様式」として根付いたマスクの着用や手洗い・うがいの徹底、そして在宅ワーク。自宅で働くテレワークスタイルが広がったことにより、自宅書斎スペースの需要も増加しています。働きやすい環境を整えていないと苦勞することも少なくありません。この機会に自宅に「快適な書斎」を検討してみませんか？



完全個室

普通の独立した部屋として作る完全個室の書斎は、周囲の影響を受けず集中しやすいのが大きなメリット。在宅勤務の悩みとして挙がりやすいウェブ会議中の音や映り込み問題も心配ありません。



半個室

完全に壁で囲わないタイプの書斎。完全個室とオープンタイプの中間の使い勝手が特徴です。うまく配置すれば視線を遮り、WEB会議などにも十分対応可能。ただし、防音性能はないためお子さんの声や生活音などには注意が必要です。



オープンコーナー

リビングデスクや廊下の一角など、有効活用して書斎にしてしまうのも一つの手段。リビングで遊ぶお子さんの様子を見ながら仕事に取り組みすることもできますね。デメリットとしては、プライベートと仕事の切り替えが難しい点が挙げられます。



◀ 2台分の車が入るビルトインガレージを完備。雪の多い地域でも安心です。

▲リビングがシアタールームに。

▲3帖の和室はロールスクリーンで仕切れば個室として使用可能。



▲間接照明が優しい雰囲気玄関。

▲造作洗面台

▲造作手洗いカウンター

車2台が入るビルトインガレージを設けたガルバリウム×無垢材のスタイリッシュなお宅。24帖のリビングは無垢材をふんだんに使用し、落ち着きのある空間に。シアターも設けられ、おうち時間を充実させる工夫も満載です。多目的に利用できるスキップフロアの下は空間を有効活用し収納を設けました。

ビルトインガレージがある家

DATA

1F	103.63㎡ (31.35坪)
2F	57.13㎡ (17.28坪)
延床	160.76㎡ (48.63坪)
敷地	430.79㎡ (130.31坪)